

化学委員会 材料化学・分析化学分科会(第 26 期・第 2 回)

議事要旨

日時:令和 6 年 7 月 30 日 (火) 材料化学・分析化学分科会 (14:00-15:00)

場所:オンライン (Zoom)

出席者 (敬称略): 栄長泰明 (委員長)、玉田薫 (副委員長)、齋藤公児 (幹事)、
内藤俊雄 (幹事)、岡本裕巳、阿尻雅文、加藤知香、加藤昌子、
川崎ナナ、佐藤縁、菅原洋子、関根千津、竹内孝江、馬場嘉
信、藤本俊幸、宮崎あかね

欠席者 (敬称略): 伊藤耕三、竹岡裕子、寺西利治、山下正廣

配布資料 1: 材料化学・分析化学ご意見まとめ

議事次第

1) 材料化学・分析化学分科会の今後の活動方針について

栄長委員長から配布資料 1 に基づき委員の意見の紹介があった。意見のうち、「学術会議のあり方」「動向・大局的な方向性について」に関しては、分科会の域を超えているので、本分科会からの意見として、上位の化学委員会 (岡本委員長、玉田委員) に全体感に関して両委員にどこかのタイミングでレクチャーいただく機会を設けたらどうかとの提案があった。また、その点も勉強会に盛り込むことも視野にいたいとの意見があった。また、岡本委員長や玉田委員からは、分科会の報告の中で提出すべきとの助言があった。

議論の方向性を明確にしてまとめていくことが重要ではないかとの竹内委員の意見を受けて、「材料化学・分析化学の方向性について」と「フォーラム・シンポジウム」の 2 点について、本日の主題として議論を進めた。その結果、今後の活動として、下記のような原案が議論された。

- ① 2024 年度に「材料化学・分析化学分科会勉強会 (非公開)」(3 時間程度) を数回で開催することとし、進め方として、まずは 11 月~12 月ころ、本分科会メンバーがお互い知り合うきっかけともなるよう、20 分ほどの講演×4 名ほど+総合討論を実施する。開催はオンラインを基本とする。竹内委員や阿尻委員や玉田委員からもポジティブな意見があった。内容の具体案としては、分析化学・材料化学分野を取り巻く環境や CN 等も含めて、また人材育成や国際競争力や研究能力の向上を目指した話題で、各委員のご研究の紹介や自由に話題提供とし、分析と材料科学の融合を目指した勉強会を進めることとした。

学術会議の歴史や分科会の意義等のレクチャーと議論は別途の勉強会で実施することとなった。

- ② 数回の勉強会を経て、2025 年度、秋ごろに「フォーラム（公開）」開催を目指して議論を深めることとなった。

以上 齋藤記